

## 水産物の市況について(令和8年1月及び令和8年2月)

—東京都中央卸売市場における令和8年1月(令和7年11月21日～令和8年1月20日集計)の市況と、  
令和8年2月の市況見通し(前月との比較)—

### I 令和8年1月の全体の市況

東京都中央卸売市場における総入荷量(水産物の生鮮品、冷凍品及び加工品の合計)は、前月から減少で推移し、前年同月比ではやや減少で推移しました。卸売価格(水産物全体の1キログラム当たり平均価格)は、前月から強含みで推移し、前年同月比ではやや強含みで推移しました。

凡例(目安)

増減率	入荷量	卸売価格
0～2%	横ばい	横ばい
3～10	やや増加(減少)	やや強(弱)含み
11～20	増加(減少)	強(弱)含み
21～50	かなり増加(減少)	かなり強(弱)含み
51～	大幅に増加(減少)	—

### II 令和8年2月の主要品目の市況見通し

#### 「まいわし(生鮮品)」

例年1月以降に三陸～常磐沖で南下群の水揚量が増加するものの、低調に推移していることから、東京への入荷量は横ばい、卸売価格も横ばいで推移すると見込まれます。

#### 「さけ類(塩蔵品・冷凍品)」

東京への入荷量はチリ産銀ざけ主体に横ばい、さけ類全般が高値で推移していることから、卸売価格は高値・横ばいで推移すると見込まれます。

#### 「さば(生鮮品)」

今後も山陰沖、東シナ海を中心とした漁獲が続くと予想され、東京への入荷量は横ばい、卸売価格も横ばいで推移すると見込まれます。

#### 「するめいか(生鮮品・冷凍品)」

全国的に産地の水揚量は低調に推移すると予想され、生鮮物の東京への入荷量は横ばい、卸売価格で推移するも横ばいで推移すると見込まれます。  
冷凍物は、入荷量は横ばい、卸売価格は高値・横ばいで推移すると見込まれます。

#### 「あじ(生鮮品)」

今後も山陰や九州を中心に水揚げされるものの、引き続きさば類主体の漁獲となると予想され、東京への入荷量は横ばい、卸売価格も横ばいで推移すると見込まれます。

#### 「まぐろ(冷凍品)」

東京への入荷量は全体では横ばい、卸売価格は高値・横ばいで推移すると見込まれます。

注:東京への入荷量及び卸売価格の推移は、前月との比較。なお、「高値/安値」については過去5年の平均水揚量及び平均卸売価格と比較。

## 東京都中央卸売市場への総入荷量・卸売平均価格(概数)

(単位:千トン、円/kg)

	1月		前月		前々月	
	入荷量	価格	入荷量	価格	入荷量	価格
8年	24	2,002	28	1,793	28	1,659
前年	26	1,874	29	1,700	29	1,518

注1:入荷量及び卸売価格は、それぞれ前月の21日から当月の20日までの暫定数値。

注2:入荷量は生鮮品、冷凍品及び加工品の合計。

## 主要品目の価格

(単位:円/kg、%)

	東京都中央卸売市場卸売価格(概数)			
	1月	前月対比	前年同月対比	平年同月対比
まいわし(生鮮品)	645	110	145	155
さけ類(平均)	1,302	88	95	119
(ぎんざけ塩蔵品)	1,359	97	101	120
(あきさけ塩蔵品)	1,137	70	109	157
(べにざけ塩蔵品)	1,806	95	108	126
(さけ類冷凍品)	1,274	86	92	118
さば(生鮮品)	898	103	147	176
するめいか(平均)	1,539	105	106	152
(生鮮品)	1,353	101	95	123
(冷凍品)	1,873	100	126	156
あじ(生鮮品)	928	130	113	139
まぐろ(冷凍品)	2,357	104	147	138
(めばち冷凍品)	1,604	107	145	135
(きはだ冷凍品)	1,741	103	182	147
(くろまぐろ冷凍品)	4,045	104	123	118
(みなみまぐろ冷凍品)	2,366	100	115	116

注1:品目により、市場で水産物の大きさ等が異なることから、主要な水産物の価格データを掲載。

注2:1月の価格は1~20日までの速報値を元に算出。平年とは令和3年~令和7年の加重平均値。

注3:さけ類冷凍品は、主として、ぎんざけ、あきさけ、べにざけ及びアトランティックサーモンが含まれる。

注4:まぐろ(冷凍品)は、めばち、きはだ、くろまぐろ及びみなみまぐろが含まれる。

問合せ先:水産庁加工流通課企画調査班

代表 03-3502-8111

内線 6618 中島、山崎

直通 03-3591-5613